

# 第一志望者入試について

## 1. 入試概要

科学技術に高い関心を持ち、本校で学ぶ意欲が特に高い受験生を対象として、事前課題と面接・作文で選考を行う入試です。この入試を受験できる者は、本校の第1回から第3回の通常入試を複数回同時に申し込み、さらに同時にこの入試にエントリーした者の中で、通常入試の得点が高くかつ事前課題の内容が優れた者となります。

## 2. 目的

本校第一志望者への優遇を制度化し、選抜方法を透明化します。また、事前課題では科学技術に対する興味・好奇心や探求心、さらには文字・図表による表現力を、作文では科学技術以外の分野への関心と文章力を、面接では言葉による表現力とコミュニケーション能力を審査します。

## 3. 第一志望者入試の流れ <エントリーから合格発表まで>

### (1) エントリー 【1月20日(日)0:00～2月1日(金)14:00】

第一志望者入試にエントリーを希望する者は、第1回から第3回入試を複数回同時出願する際に、同時に申し込みます。後から追加で申し込むことはできません。エントリーはWEB出願のホームページから申し込むことができますが、以下に説明する課題を提出した時点で、はじめてエントリーが完了となります。WEB出願の画面から申し込んだだけではエントリーとなりませんのでご注意ください。また、エントリーの段階では第一志望者入試の分の受験料はいただきません。

### (2) 課題提出 【1月20日(日)郵送～2月1日(金)15:00郵送・窓口必着】

第一志望者入試にエントリーを希望する者は、課題の提出が求められます。課題は10月28日(日)以降の中学説明会および本校事務室にて配布いたします。また、課題は指定の用紙に記入しますが、その用紙である「第一志望者入試課題シート」も10月28日(日)以降の説明会および事務室にて配布します。

課題は2月1日(金)15:00までに、本校事務室に提出するか、郵送必着となります。郵送の方法は、12月上旬に本校ホームページに載せる「一般入試出願の流れ」をご覧ください。

**事務室受付時間 平日9:00～15:00、土曜日9:00～13:00**

### (3) 受験資格の連絡 【2月4日(月)20:00～21:00】

2月4日の第3回入試の合格発表後、第一志望者入試を受験できる対象者に対し、電話で個別に連絡します。電話連絡は20:00頃に行う予定です(多少前後する場合があります)。

対象者は、エントリーした受験生の中から、以下①と②の二つの基準を両方満たす者を選抜します。なお、電話連絡をする人数は、募集定員と同数程度の予定です。

① 複数回受験したが合格していない者の中で、受験した試験の得点が複数回とも上位の者。

※3回受験した場合は、高得点の2回分を採用します。また、3回出願したが実際は2回しか受験しなかった者も対象となります。

※第1回・第2回入試に同時出願し、第一志望者入試にも出願（エントリー）した場合、第1回・第2回入試のどちらかを欠席しても第3回入試を申し込み、受験することで第一志望者入試の受験資格を満たします。

② 事前に提出していただいた課題の内容が一定の水準以上であること。

※制度の趣旨から、受験者は本校を第一希望とする者に限ります。受験資格の電話連絡の際に、その点を確認させていただきます。合格後の入学辞退はできませんのでご了承ください。

(4) 出願 【2月4日（月）20：00～2月6日（水）0：00】

電話連絡があり、受験資格を得た受験者は、期間内にWEB出願のサイトから「第一志望者入試」を選択し出願をしてください。出願には電話連絡の際にお伝えするパスコードが必要となります。受験料支払いのページで受験料を支払い、手続きを完了させてください。受験料の支払いが完了した時点で正式な出願となります。

(5) 受験 【2月6日（水）】

① 当日持参する物

・受験票（Web上から印刷したもの） ・筆記用具 ・第一志望者入試課題シートのコピー

② 受験生受付

・8：45までに試験室に着席してください。試験室は当日指示します。

③ 入学試験時程・内容

・作文 9：00～9：50 テーマは当日発表。科学技術とは関係がないテーマを予定。

・面接 10：10～ 順番は当日指示。一人15～20分程度 ※面接は受験生のみです。

(6) 合否判定

上記（5）の試験により合否を判定します。第1回から第3回入試の得点は考慮しません。

基本的には不合格にするための試験ではありませんが、本校の教育指導方針との間に著しいミスマッチが起こりそうだとみなされた場合、不合格とする場合があります。

○評価基準

・作文における論理構成力、文章力

・面接における対人対応力、コミュニケーション力、説明力

また上記を通して理解力、思考力、表現力および本校の学校生活における意欲と適性、対応力を総合的に判断して合否を判定します。

(7) 合格発表

2月6日（水）16：00～17：00の時間帯に、電話で個別に連絡します。

(8) 入学手続き

2月7日（木）10：00より、合格証と入学手続き書類を交付しますので、本校事務室までお越しください。

## 2019 年度芝浦工業大学附属中学校「第一志望者入試」課題

みなさんは「自動機械」と聞いて、どのようなものを思い出しますか。身の回りにはスタートボタンを押すだけでさまざまな動作が同時または連続的に起こり、ものごとを完成させてくれる機械があります。工場にはさまざまな種類のものがたくさんありますが、私たちの身近にも見かけることができます。

たとえば、わが家の洗たく機はスタートボタンを押すとさまざまな動作が始まり、そして洗たくを完了します。その様子を下の<例>のように表にまとめました。動作を左の列に書き、その動作に対して気付いたこと、疑問に思ったこと、考えたことなどを右の列の「考察」に書いてみました。

<例>	
機械の動作	考察
スタート！	
底の羽が少し回転して、水が自動的に入り始める。洗ざいの量が示される	洗たく物の重さを計っているようだ、それにより水の量と洗ざいの量が決まってくる。重さでなくて、汚れの程度をはかることはできないのだろうか。そうすれば水や洗ざいが節約できるかもしれない。
底の羽が回転して、洗たくが始まる 20秒で反対回りになる。	反対回りにすることで服がもまれたり、こすれたりして、汚れがよく落ちる。それに洗たく物がからまらないらしい。洗たく物がからまると、干す時にめんどくさい。
いったん水がぬかれ、さらに水が注がれてすすぎが始まる。	すすぎは2回おこなわれる。服についた洗ざいをおとす。たしかに1回だけではまだ水が汚れていて気持ちが悪い。
水が抜かれ、こんどは円柱型の外側の入れ物（ドラムという）じたいが高速に回転して、洗たく物から水分を取り去るだっ水が始まった。	遠心力で水を切るしくみ。ドラムに小さな穴があいていてそこから水を外に出す。ぞうきんを絞るみたいにするにはどういうしくみが必要かと考えたが、絞るとシワになるので、お母さんのアイロンがけが大変そうだ。しわにならずにもっと短い時間でよく水が切れるしくみは他にないのだろうか。
終了！	

### 【課題ア】

下の□には洗たく機のように、スタートボタンを押すことで、複数の動きが同時または連続して起こり、仕事を完成させる機械が並べられています。その中から自宅にあるもの、または好きなものをひとつえらび、その動作とそれについてのあなたの考察を上の方の例のようにまとめてください。

食器洗いかんそう機 自動パン焼き機 ミル付きコーヒーマーカー

ロボットそうじ機 コピー機またはプリンター FAX送受信機 自動洗車機

その他、上の物以外にもあなたが知っている物や調べた物でもかまいません。ただし、洗たく機と洗たくかんそう機は除きます。

### 【課題イ】

あなたが、これがあつたらもっと便利になるし、楽しくなるなど思う「自動機械」はどのようなものでしょうか？ 自由に考えてみてください。まったく新しいものでも、今ある機械をいろいろ組み合わせるのもいいかもしれません。

説明は文字だけでも、文字と自分で描いた図や絵を使ってもかまいません（写真は使えません）。

## <課題の提出方法>

「第一志望者入試課題シート」に記入します。

- (1) 受験番号欄・・・何も記入しないでください（空けたままでよい）
- (2) 受験者氏名・・・あなたの名前を書いてください
- (3) 題名・・・自由にタイトルを考えて書いてください。そのタイトルの中にはあなたが選んだ電気製品名をふくむようにしてください。
- (4) 解答欄・・・課題をよく読んで、あなたの調べた内容や考えを記入してください。
- (5) 解答のまとめ方の注意
  - ①解答欄のわく線の中に、課題アと課題イを区切ってまとめましょう。どちらにたくさんスペースを使ってもかまいません。
  - ②文字はえんぴつ、ボールペン、サインペンなどを使って、全部手書きで、自分で書いてください。色のついたえんぴつやペンを使ってもかまいません。
  - ③課題アでは、<例>のように、かんたんな表のかたちにしてください。課題イは自由です。説明を分かりやすくするために、自分で書いた図や絵を使ってもかまいません。
- (6) その他の注意
  - ①受験生一人あたり提出できる課題シートは1枚だけです。あらかじめ下書き用に何枚かコピーを取っておくとよいでしょう。もし元のシートで失敗してしまっても、コピーのほうに書いて提出してもかまいません（「第一志望者入試課題シート」の用紙は厚い紙ですが、薄いコピー用紙でもだいじょうぶです。）
  - ②課題シートは試験が終わっても返しません。一度提出した解答の書き直しはできませんし、もう一度見直すこともできません。できあがったら必ずコピーを取り、保管しておきましょう。
  - ③質問については、一部の人だけに答えると不公平が生じてしまう可能性があるため、答えられません。自分で考えて、自由に書いてください。
  - ④最後に、この課題は君たちの身近なものへの興味関心の程度や、その疑問への調べの度合い、説明の分かりやすさを見るためのものです。解答欄の見ばえを競うものではありません。

## <保護者の方へお願い>

### (1) 課題作成の補助について

- ①説明や図をまるごとコピーするのはおやめください。一部を引用する場合には必ず出典・引用元を小さく注意書きで加えるようご指導ください。Webの場合はURLを記載してください。もちろんオリジナルの文章や絵であれば、その必要はありません。ここは大人の責任でお願いします。
- ②対話を通じてお子様の考えを引き出し、その考えをまとめる過程の手助けをお願いします。シートへの表現方法で過度に手助けをしてしまうと、いざという時の面接での発表や質問で答えられなくなってしまいます。ご注意ください。
- ③個別の質問にはお答えしません。課題の解答や提出にあたり、受験生全員が知っておくべき情報がこのあとから生じた場合にのみ、本校ホームページに掲載します。12月10日（月）頃ホームページのチェックをお願いします。それ以降の情報更新は基本的に行いません。

### (2) 課題審査の基準について

- ①募集要項に記載の通り、「複数回受験したが合格していない者の中で、受験した試験の2回分の合計点が上位の者」で、かつ「事前に提出していただいた課題の内容が一定の水準以上であること」が受験の基本的な要件となります。
- ②この課題については、特に点数化して順位を出すことはしません。上記「(6) その他の注意」の④をよくご覧ください。

また昨年の課題解答例とQ&Aを以下のURLに掲載していますので、あわせてご参考にしてください。

<https://sites.google.com/shibaurafzk.com/daiichisibousha2018/>

以上